

神戸市長 久元喜造様

2024年4月23日  
日本共産党神戸市会議員団  
団長 森本 真

## 降雹による被害への対策を求める緊急要望書

平素から神戸の農業振興にご尽力いただいていることに敬意を表します。

さて、2024年4月16日午後8時過ぎ、神戸市に大量の雹が降ったことにより、市内各地で家屋や車などの多くの被害がでています。特に、西区ではビニールハウスに穴が空いたり、農業施設の窓が割れたりする被害がでており、「収穫期を迎えたキャベツ、小松菜、白菜などの露地栽培野菜が出荷出来なくなった」など、17日までに西農業振興センターへ60件を超える被害通報が寄せられています。

日本共産党神戸市会議員団の聞き取り調査でも「トマト栽培をしているが、ビニールハウスに穴が空いたことで、病気発生の恐れが強く、収益が半減する被害もそう」「イチゴ栽培のビニールハウスが破損し、ビニールをかけて凌いでいる。6月には次の苗植えが必要だが、気温調整がむずかしく、栽培ができないおそれがある」「これまでお米から野菜に転換してがんばってきたが、このままでは続けていけない」などの声があがっています。

被害者のなかには、保険に加入していない生産農家も多くあり、今回の深刻な被害に対して、行政の支援を求める声も出ています。

神戸市におかれましては、市内の降雹被害に対して、緊急に対策をとられるよう以下の通り要望いたします。

### 記

- 一、神戸市に臨時のワンストップ相談窓口を設置し、既存支援制度の案内や罹災証明書の発行支援、災害ゴミの廃棄方法の周知など、被害農家によりそった支援をおこなうこと。
- 二、神戸市として広範囲におよんでいる被害実態(被害件数・被害面積・被害総額・被害作物など)を調査し、全容を把握すること。
- 三、農作物の損失やビニールハウスなどの農業施設・農機具を破損した被害農家に対して、神戸独自の補償や見舞金支給など生活支援をおこなうこと。

以上